

「ありがとう」の気持ちを込めて

校長 小杉 栄樹



街ゆく人は、すっかり冬の装いとなりました。カレンダーも残すところ、あと1枚。月日が過ぎていく早さを実感しています。

本校では今年度11月17日を2・4・6年、19日を1・3・5年の学校開放日としました。多くの保護者・ご家族、地域の方々にご来校いただきました。ありがとうございました。学校での子供たちの学習や生活の様子をご覧いただき、学校への理解を深めていただくとともに、地域ぐるみで子供を育てる機運を高めたいと考えています。いただいたご意見を今後の糧にして、学校の活性化と教育の充実のために努力を重ねてまいります。これからも子供たちの成長のために、いつでもご来校いただけると幸いです。

ありがとう集会で感謝の気持ちを届けました

11月20日に「ありがとう集会」を開催し、日ごろお世話になっている地域の方々をお迎えして、全校児童でお礼を言いました。



学校の登下校や放課後にいつも子供たちを見守ってくださる方々がいます。学習の支援や読み聞かせに来てくださる方々がいます。三角公園の整備など教育環境を整えてくださる方々がいます。たくさんの砂山小学校の子供たちを優しく見守ってくださる方々のおかげで、子供たちも保護者も安心です。心から感謝申し上げます。

集会では、子供たちから、歌やメッセージ、手作りのプレゼントを贈ってお礼をしました。地域の方々からは、「私たちもみなさんから元気をいただいています」というありがたいお言葉をいただきました。

「おはようございます」「行ってきます」「いつもありがとうございます」とこたえることができる子供に育てていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。



SNSの正しい使い方

11月17日と19日の学校開放日に、5・6年生の子供たちが、和歌山市立少年センター 西嶋直樹先生に、「携帯電話・スマートフォン・インターネットの正しい使い方」について教わりました。近年ラインやオンラインゲーム等、SNSをめぐるトラブルが小学生でも増加傾向にあります。

「正しく使用すれば便利な生活ができる反面、誤った使い方をすると自分や家族、友人を傷つけることになります。だからこそ今から正しい知識を持つてほしい」と西嶋先生は子供たちに語ってくれました。「SNSの正しい使い手」に成長してほしいと願っています。

学校運営協議会を開催しました

11月17日に今年度初めての学校運営協議会を開催しました。6月の学校再開や砂山スポレク2020等4月からの学校の取り組みを説明させていただいた後、全クラスの授業を参観していただきました。運営委員の皆様からは、子供たちの健全育成のために協力を惜しまないことや連携の必要性等、力強い貴重なご意見をたくさんいただきました。今後も保護者や地域の皆様と連携し、地域と共に進める学校づくりに努めてまいりますので、ご支援ご協力の程、よろしくお願いします。



他県の学校との遠隔リモート授業

11月5日の世界津波の日に、和歌山大学今西武教授、ソフトバンクグループ様のご協力をいただき、6年生が、鹿児島県徳之島町立花徳小学校と茨城県つくば市立竹園東小学校の児童と3元中継の遠隔リモート授業交流を行いました。「Zoom（ズーム）」という機能を使い、「津波と防災」について意見交流しました。1000km以上も離れた学校でしたが、まるで隣の教室にいる人たちと話しているような不思議な感覚でした。防災について学びを深めることができたことはもちろんですが、近未来の教育を体験することができた貴重な機会となりました。



「人権を考える強調月間」について

11月11日から12月10日は「人権を考える強調月間」です。小学校においても学校開放の日に「人権について考える授業」を行いました。人権を守る子に育ててほしいという願いを込めて、砂山地区人権委員会様より、鉛筆と赤青鉛筆の5本セットをいただきました。人権標語に応募してくれた5・6年生の子たちには記念品もいただいています。ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。裏面には、5・6年生の素敵な標語がたくさん掲載されています。ぜひ一読し、ご家庭においても「人権」について考える機会にさせていただきたく思います。